

| | | | | | |
|---|--|---|---|--------------------------|---------------------------------------|
| 教科名 | 国語 | 科目名 | 実践国語（2年次）【2単位】 | | |
| 授業形態 | 講義形式 | | | | |
| 選んでほしい生徒 | 2年次全員（必履修科目） | | | | |
| 科目の目標 | 豊かな国語の使い手を目指して、生活の中で日本語を活かせるよう、基礎的な力をつける。 | | | | |
| 身に付けてほしい学力 | 1 ことばに対する興味・関心 2 高校生として必要な語彙力、表現力 | | | | |
| 学習計画 | 単元・教材 | | 学習のあらまし | | |
| | 【1学期】 1 ことばのかかわり (1) 日本語の語彙 (2) 同訓異字・同音異字 (3) 類義語・対義語 2 ことばのつながり (1) ことばと世代 【2学期】 1 ことばのつながり (2) 日本語の語源 (3) ことばと地域 【3学期】 1 ことばのきまり (1) 日本語の文法 (2) 日本語の音 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ことばとことばの関係について学習する。 ・国語辞典をつかって、外来語、同訓異字語・同音異字語、類義語・対義語を調べる。 ・ことばを育んできた時間と空間について考える。 ・「若者ことば」について調べる。 ・語源調べをし、ことばの由来を知る。 ・方言の現在と歴史について調べる。 ・「文法」や「発音」の知識をつかって、どう表現すればよりわかりやすい表現ができるか、どう発音すればより伝わりやすいかなどについて学習する。 ・各学期ごとに調べ学習のまとめをする。 | | |
| 評価の観点・評価方法 | 関心・意欲・態度 | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 知識・理解 |
| | ・国語に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 | ・話すために必要な情報を収集、整理し、目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりしている。 | ・書くために必要な情報を収集、整理し、相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書いている。 | ・目的に応じて様々な文章を的確に読み取っている。 | ・言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。 |
| 上記の観点を踏まえ、定期考査、授業態度、調べ学習の成果、課題等の提出物等を総合的に判断して評価を行う。 | | | | | |
| 学習のアドバイス | 1 本や新聞等を読むとき、ことばの使い方（伝えたいことをどう表現しているか、どう言いかえているか、どのようなことばを選んでいるか等）も意識して読んでみましょう。 2 ことばを覚えたら、実際に使ってみましょう。 | | | | |
| 教材費 | 補助教材 約1,000円（問題集など） | | | | |
| その他 | 国語辞典を用意しておく。 | | | | |